

KK通信

昭和28年7月1日発行 (毎月1日1回発行)
昭和28年4月17日第3種郵便物認可
発行所 堺局区菅原通4ノ30曙書房
定価 一部 20円

第一〇号

新時代の風俗雑誌

刊 奇譚クラブ 定価百円
送料八円

七月号発売中 第七巻第七号

断然、他の追随を許さぬ七月号の威容
他の類例のない異色ある編集、古今東西に亘つた豊富な内容、前衛的風格を有つた日本唯一の風俗雑誌奇譚クラブは真摯な編集陣の努力と熱狂的な愛読者の支持とによつて此処に七年を迎え、今や確固不動の揺がざる基礎を作り上げました。

月を重ねるに従つて直接予約購読会員は激増の一途を辿り、又特別会員の募集に際しては予定の申込用紙が忽ち出盡してしまう盛況にて読者による読者のための雑誌という本来の目的に向つて勇敢に進捗することが出来るようになりました。今後は号を追うて益々充実発展以て皆様の御期待に副いたいと思ひます。何卒更に一層の御支援と御鞭撻を御願ひ致します。

奇譚クラブの旧号在庫
バックナンバーは左記の通り在庫し

ていますから廿七年の分は一部送共九十円、廿八年の分は一部送共百円にて急送します。廿七年八月号以前は全部売切となりました。

- 九月号 倒錯の告白特集号
- 十月号 切支丹迫害史特集号
- 十一月号 宗教刑罰戦慄画譜
- 十二月号 惑溺の愉悅特集
- 新年号 縛つた女を描く
- 二月号 責めの小説特集号
- 三月号 東西拷問くらべ
- 四月号 倒錯の告白特集号
- 五月号 男性マゾ特集号
- 六月号 新緑躍進号

- 各月号の詳細目次は最近号に発表してありますから御覧下さい。
- 直接予約購読者へは毎月厳重荷造りの上、書店発売前に発行所より第三種郵便によつて直送致します。
- 書店にてお求めの方は毎号洩れなく御入手されるため是非最寄り有名書店へ御予約下さい。
- KK通信は第五号迄は全部品切、第六号以下若干残部があります故、送共切手三十円にてお送り致します。

(編集部便り)

六月号は愛読者からの絶賛と書店からの追加注文の殺到で嬉しい悲鳴を挙げた。山の様な原稿や参考資料の中に埋れて只我無しやうに編集を続けていくと、選挙もお花見も過ぎてしまつて日曜日といつても休む暇もない忙しさである。原稿といえは載せたい惜しい原稿が未整理のまゝ山積、今回、専門の整理担当者を選定したので、これから秋、冬にかけては素晴らしいのが飛び出して皆様をあとと云わせることと思ふ。小坂多美枝さんにやつと連絡がとれた。今迄以上に張切つて書いて下さるそうだが、現在のお仕事の都合で急に大部のものとつのは望めないのが残念である。羽村京子さんからの川端多奈子さんと信太登子さんへの公開状を七月号にのせた。奇は女性ばかり

を優遇するといつて叱られそうだが、何れ女抜き座談会(男ばかりの)をやつつもりをしています。染田玄氏の司会で。この一、二カ月、読者から忌憚のない通信を載せましたが此れは別に気にしないで下さい。あれは読者の便りそのまゝであつて決して編集部を代弁させたものでありません。それから直接編集部訪問はしないで下さい。必要ある時は事前連絡を先に願ひます。

KK通信 第10号

昭和二十八年七月一日発行 (毎月一回一日発行)
発行人 吉田 稔 編集人 箕田 京二
発行所 大阪府堺局区内菅原通四ノ三〇 曙書房
定価 二十円 (振替口座大阪三四九五六番)

第九号KK通信で、私の新造語「アブニスト」に就いて、沼正三先生の御忠言を有難く拝読しました。

私が無神経に使つて居ると思つて居られるようですから、その点に就いて一言弁明させて頂きたい。

「アブニスト」を始めて用いる時には私もかなり気がしたのです。

こんなのは英語でも何でもない、然し私はあの時、所謂「アブニスト」を表現するに、非才にして他に適當する單的な字句が浮ばなかつたのです。

沼先生は「學術語まがい」と仰せられたが「アブニスト」の語感から學術語と言ふ感覚が匂うでしようか。

私は讀者に「ハハ詰らん造語を使いやがつたな」と譏笑されることを期待して書いたのです。

斯う言つても如何にも自己の作品に対して不忠実のようですが、こゝにも私のマゾ的な心理がそうさせてしまつたのでしよう。「鬼山」と言ふ奴は無智な

KK論壇

ジャーナリストの感覚

アブニストの弁明

鬼山 絢策

造語を使つて得々として居る」と思われることは覚悟の前だつたのです。然しもしもこの新造語を讀者が受入れて流行するようにならば、それはそれで又よいのではないかと思ひます。

世の中には正しい言葉が用いられず誤つた言葉が流通して居る場合が屡々あります。

例えば「チフス」を一般にはこの通

の流義を固守して旧仮名遣いで押通して居る作家も見受けられます。

文法にしろ発音にしろ正鵠を得たものを用いるにこしたことはないのです。が、早い話がこの「正鵠」と言う字さえ誰も正しく「せいこく」と発音する人はなく、皆「せいこう」と言うのは「せいこう」の方が世の中の男女には好ましく感ぜられるからでしようか。

イヤ脱線して失礼しましたが、要するに文法上や発音上の誤りがあつても、世人の多くがこれを認めれば、それは俗語として認められ、用いられるようになるのが、自然の勢いではないでしようか。

私は或る方々の雑誌の編集に携つて居りますが、ジャーナリストの感覚と言ふものは、時の流れ、人の動きに連れて方向を変え、そしてその方向に向つて絶えず目新しいものを求める動物なのです。

私の専門として居る世界にも、特殊な用語が非常に多くあります。

ボクの責め方 (五)

宝塚二三夫



責のコスチューム
として

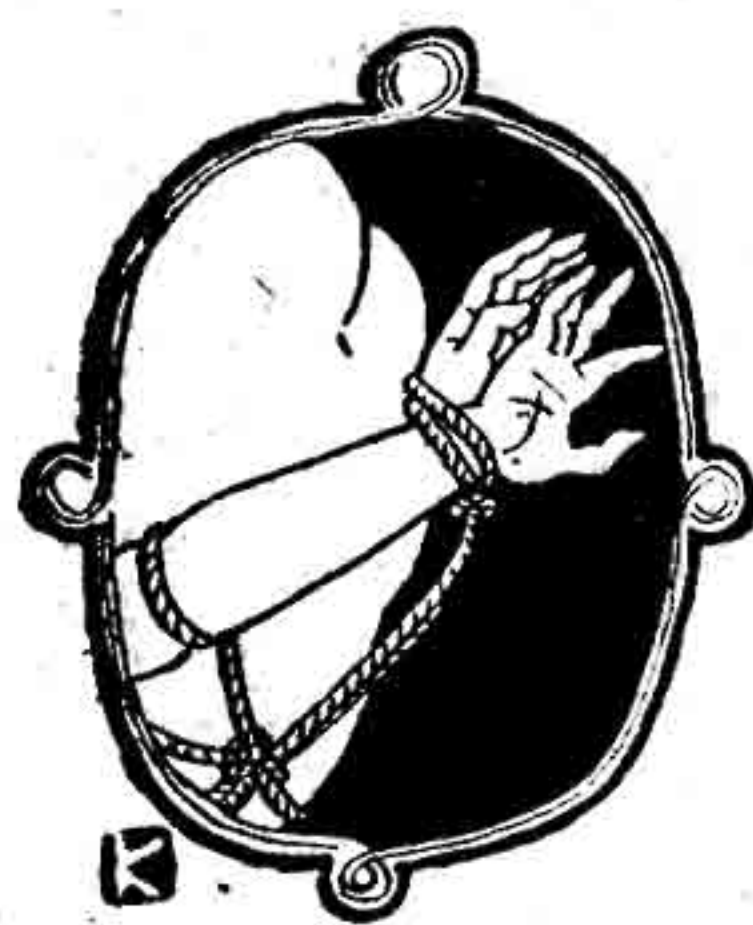
- 一、飾り気のない紺の事務服。
- 一、食堂の白襟ユニホーム。
- 一、女学生のセーラータイプ。

- 一、銘仙の町娘。
- 一、お召のやと。
- 一、友仙シヤナリの芸妓。
- 一、ドレスのパリツとしたダンサー。
- 一、素晴らしいニュースタイルの令嬢。
- 一、デパートのユニホーム。

一、粋好みのマダム風。
一、ボクの責め好みの秘書服。
一、派手な調子のレヴュガール。
一、同右のニューフェイス。
一、紺ズボンの案内ガール。
等々そして次のシーンである。剃出した髪と縋のかゝった手足……そして文壇節。その本題に入る前に、こゝにトピック・ニュースとも言つべき、開花一番、君子の話を取り上げねばならぬ事になった。それは昨日の事であり今日の話しであり処女開花のホットニュースである。

除から……」
「ハイ、お願いします」
と言葉尻もハキハキしている。瞬間何となくボクの食指は動き出した。それから一週間程、ボクの常道手段であらゆる好過セイタク、層間の車のドライブは勿論、責の対照を考えつゝの服類、赤い可愛い、パンプスの靴、ネット帽、ナイロンの皮下、等は当然母と妹二人の貧しい君子には余りに大きい夢現であつたのだから。
一週間の給料一五〇〇円を渡した翌日である。早、六時五十分ボクが車で寒々しい事務室へ入つた時「お早うございませう」とドアの外へ飛出した君子の両肩を掴んで「チュッ」と音を立て、右頬にキッスをしてやつた。
瞬間ピンク色の頬を赤くして室内へ飛込むと「マア、こんなの初めて……くすぐりたい……」
「くすぐりたいのと心地よいのと同じだよ」
「そうか知ら……もつたないわ、明日は顔をあらわすに来よう……」
茶目らしくエクボを大きくする。こ

伊呂波仁補 遣抄



(三三頁上段十五行目の次へ) 私が
もり上つた二つの丘を愛撫していると
女は(同中段十一行目の次へ)私はこ
ゝそと内腿へ容赦なく打ち下した。こ
ゝこそ痺れる様な快感がかけるのが
よくわかる。女はハア／＼とあえぎ乍
ら眼を閉じて了つた。(四五頁下段五
行目の次へ)その白い脚とズボンとが
もつれ合つて私の方へやつて来て私の
頭の上へドシンと同時に腰を下しまし
た(同三行目の次へ)ドタンボタン
と柔かいスプリングの上で組み討ちが
始まつたのです(四六頁二行八字目
の次へ)春美は黒い武器をチラリと覗
かせて床へとび下りると私の上に駆け
上りました(四六頁下段六行目の次へ)
又ベットの上下とで格闘が始まりま
した。ドシンと私の頭の上に倒れかゝ
る重圧が降りました、社会に出ては斗

争的で一步も後へ退かぬ池崎も春美の
前にはその斗志をグニヤ／＼にさせら
れてしまつたのです。まだまだ許して
はいけない、春美よ頑張れ、私は曾
つて経験したのない昂奮に全身が震え
ました。斗争は冷く停止し春美の一方
的攻撃に移つて居るようですその心ゆ
く迄勝利の快感に侵つて居るであらう
心境はそのまゝ私の肉体の中に溶けこ
んで来るのです。私は私自身が勝利者
であるような錯覚に陥つていました、
池崎の苦行の声は雨だれの如く続きま
す「ウームもう勘弁してくれ」「フ、
意気地がないのね」「俺は下条程頑張
りが利かないよ」「もう少し……だめ
……」(一〇四頁下段一行目五字目の
次へ)それを見て彼等は左右に分れる
と彼女の前へ廻つて両側から彼女が脚
を開くのをじつくり眺めにかゝります(同三行目) 徐々に両脚を左右に開き始
めるのです(同十行目十五字目の次へ)
(こうして一寸二寸と少しづつ彼女は
両足の間隔を拡げてゆくのですがこの
間には(同十一行目三十三字目の次へ)
彼女がやゝ十分に脚を開き終つた時に
至つて

短信 往來

〇KK通信は本号から直接購読者に贈
呈中止となり担当者としては甚だ申訳
ないと思つて居るのですが、双手を挙
げて賛成という方の多いのには無条件
で愛読者に向つて頭を下げます。一人
位は文句を云われる方があるだろうと
内心思つて居たのですが――。
〇本誌の企てについて社会的に相当有
名な人々から激励や御鞭撻を頂き意を
強くしています。若し本名を發表出来
たら一驚されるだろうと思ひます。
〇郵税高のため地方誌的な存在が許さ
れ難い状況ですが、KK通信は四月十
七日第三種郵便物の認可も下りました
ので当分は本誌に背負われるとしても
一刻も早く一人歩き出来るようになり
たいと考えています。
〇特別会員文通規程によらずして、文
書の郵送や住所の照会をされる方が未
だにありますが、そんな方々には一切
便宜をはからいませんから御承知おき
願ひます。規程に寄つたものは速かに
手配するよう努力いたします。

〇本誌やK通の出るのが早いとか晚い
とかやかましく言つて来られる方があ
ります。月一回は確実に出して居り
ますから、数日の遅速はお許し下さい
〇お待たせ致して居りましたアルバム
「美しき縛しめ」は五月一杯で完成す
ることになりました。豪華な出来ばえ
です。不足の送料は代理部にて負担の
上、六月早々皆さまのお手元へお届け
申し上げます。
〇K通を月三回か四回出せという声に
対しても希望としては抱いていますが
当分の間見込みはありません。
何れその中そいつた御希望にそう
よう努力したいつもりです。
〇切手を貼らずに投函される方々の為
毎日のように不足税をとられますが、
どうか御注意願ひます。一々申し上げ
るのにも郵税がいるので黙つて払つて
おりますから、どうぞよろしく。
〇松井彌子さんは近々東京へ御移転
とかで連載の「浮火」を目下白浜温泉
で書きためておられるらしいです。本
日のお便りでは八月号あたりから場面
は急展開して息もつかせぬ面白さにな
るそうで、早くお送り願ひ日を心待ち
にしています。

て逆立ちをしてくれた。更に長椅子の上に着て口に注ぎ込んだ酒が流れ落ち、咽喉から胸を伝い、腹を流れて膝下から両足に下り、爪先立つた足の指にしたゝるのを私が口で受けて飲むげいとうもやつてくれた。この酒の味は天下一品だつたらう。妓は私に縛つてくれとせがんだ。私は今日貰つたばかりの給料から更に二千円を妓に無理に握らせ

「責め折檻してもよいのか」

と訊いた。妓は

「思い切つて拷問に掛けて頂戴、私、その方が大好き、あとでとつてもいい、気持ちになれるの、だからうんと苦しめてみてよ」

と笑い乍ら、しごきや下帯等七八本用意して腕を後ろに廻した。私はお腰一枚のパアマメントの頭を小突き廻して色々な拷問に掛けて嬉しんだ。鴨居に逆さに吊り上げて盛り上つた尻を革バンドで打ち据えて見た。白い腹に煙草の火を押しつけた。以前に浜子にしておつたように肛門に割り箸をさし込んで、えぐつて見たりもした。H勇と

云う妓が死ぬ程嬉しかつたと云つたのはその翌朝のいつわらざる告白である。そのH勇が私の最初の恋人として僅か二月ではあつたが、燃えるような愛慾の焰を吹き消して斃れたのは肺浸潤の病気に冒されたためである。そしてあつてなく他界したのは間もなくであつた。

私は二十五年の暮れ、官庁を辞して新聞社に入つたのを機に、一切の悪の巡礼を清算すべく、宗教に活路を求め口誦三昧に浄齋を願つた。私は新らしい人間に生れ代りたい。私は人間としてもう一度ノウマルな世界を見たい。この想いが私に結婚を強い私をして健全な社会人たるべく人間修養をうながして心の汚れを洗わした。私は妻の愛情にノウマルな感覚に戻るべく日夜呻吟しているのみである。既に近く二子を設ける私であつてみれば最も良い機会と云わざるを得まい。こうして一切をあからさまにした今、私は何か清々とした気持ちである。今朝の食事は大変に美味かつた。「お茶漬の味」ではないが私達に夫婦の本

当の味が噛みしめ出されるのも、遠い日のことではあるまい。
世の読者よ、この変態の告白記を敢えて他山の石とされんことを――。
(完)

責めのアイディアを幕る

本誌の縛られた女の写真並に繪は口繪にしても代理部の分譲品にしても、すべて読者の要望に従つて作成し読者の意向を如実に実現することをモットーとして参りましたが、今後更にその反映を計りたいと思ひますので、縛られた女についてのアイディアを広く読者の方々から募りたいと思ひます。
自分はどういつた写真を撮つてほしい。或はこういう繪を描いてほしいという御希望は御遠慮なく、どしどし編集部宛御寄せ下さい。出来れば簡単な略図を入れて下されば尚結構です。編集部に於て詮衡の上、採用致しました分には、御進言下さいました方に対して、写真又は原画(使用済のもの)を贈呈いたします。宛名は編集部、辻村隆宛に願ひます。

営業部便り

○信用第一主義を奉じて居ります係として毎月若干の郵便物の返送並に不着が出来ますのは大変残念に思ひます。明らかに郵便局の不注意によるものの中にはありますが、肩書の不備によるものが多いので住所氏名は必ず楷書で正確にお書き願ひたいと思ひます品切以外のものは即日発送をモットーとは致して居りますが、休日等の為慰ね遅延を見ることがありますので御諒承おき賜りたいと思ひます。
○御照会には必ず返信料を封入下さるか往復ハガキを利用下さるようお願い致します。封入なきものにはお返事出来ない場合があります。
○今回のアルバムの御申込に送料を御加算下さらなかつた方々は至急、切手に二十四円御送付下さいませ。
○包装は出来るだけ厳重にして他から内容を判別出来ぬように心掛けて荷造りの上発送致して居ります。
○良心的な運営を念願しておりますからお気付きの点は御申出下さい。

ボクにしては意外な程マゾヒスチックな言葉に

「はだしになつて立てろ」

「ハイ」

気味悪い程気安く謝まるようにうなずくと、買つてやつて間もない赤い靴をぬぎ二つキレイに揃えて横に置き黒い線のクツキリと出たナイロンも手早くぬぐと靴の中にさし込んでオーバーを着て赤いハンドバッグを持つたまゝ真すぐに立つ君子。

やはり床は冷たいので心なしか豆のような足のおやゆびは宙に浮き上つてゐる……チラツと壁際の電気時計を見るのを見たボクはその瞬間を利して「時計等見なくてもいい、うしろ向いとれ」

「ハイ」

開花一発そのもののような白桃色の年に似合肉付よい腓脛を半分以上のぞいて見えるのを見るとボクには早や何かノックされている感情が走る……いつの間にか一分終つたのか時間来た……「よし今日はよし、次はおくれた時

縛られた女のアルバム

「美しき縛しめ」について

六月号に発表しました縛られた女の集大成「美しき縛しめ」につきましては広告に書きました通り最初はアルバムの大きさをA5版の予定で材料其の他の準備を完了、仕事を進行させて居りましたところ、写真の大きさを六ツ切に決定しました為、どうしてもアルバムの大きさがA5版では小さ過ぎるので急にB5版に変更しました故、完成がいさゝか遅延致しましたのは、首を長くして待つて居られる皆様には大

変申訳ないと厚く御詫び申し上げますそのかわり、送料二十四円と予定しましたのが倍以上もかゝるといつた有様で、必ずや皆様に御満足して頂ける品物が出来る筈でありますから何卒御期待下さいませようお願い致します。尚、限定版は会員外への頒布はお断り致しますから、御申込みには必ず会員番号を添記の上御願ひします。会員外へ分譲のものは追つて別途に発表する予定であります。

水曜日。

「今朝はこの机の上で立つてろ」

「すみません、ハイ……」

と素足になつてから……

「足洗つて来ます……」と止める間もなくバルコニーへのドアを押して出る。

洗面所から戻つて来ぬ君子、ボクの姿を見て立ちまどう姿……

「バカだナァあわてるからだよ」

た君子……

「すみませんおくれ……」

この時から君子に対する責の第一歩が出たわけである。

「おくれた時間だけそこに立つていろんだ」

「ハイ」

「唯立つていただけでは罰にならん」「ハイ、どうしてでしょう」

「横抱きにして机の上へ、矢張り未だ底力のない軽快な抱き具合……オーバーの上からではもう一つ……とも角円卓では足元があぶないのでボクの大テールの上へ足のうらのよれぬまゝに降ろす。ボクの首玉に巻付けた手をどうしたものか難し難い風情……」

「まだ甘えるのは早い、罰を受けてから今日はこうしてやる。」

「ハイ、すみません」



☆ 六月号の珍迷評 ☆

一 迷 評 家

(一) お小夜風……固くるしい活字ばかりの中に断然柔かく、美女の餅肌の裸の肉をまさぐっている様な気持。今後この様なのを続々とお願いします。

(二) クリスチーヌの受難……流石サディズムの精髓を解かれた氏の訳だけにシワ／＼と心にこそばゆく責めへの昂奮を誘う作品。心憎い程の浅層の場面も予想されて心ワク／＼「しまい迄読んで始めて声になり」とは如何です

ポールクレルモン氏は上等の出来栄え好きですな。

(三) 出獄……いつも乍ら厭にならぬ経験記、赤いランニングシャツ。赤いパンツが私の気持をひきます。貴兄の経験が羨しいと言つたら目をむかれるかも知れませんが……

(四) 拷問と倒錯の根源探求……予告を見てどんなむづかしいことを並べられるのかと内心恐怖を来たしておつた

とあわてるように難し手を瞬間掴むという手にねじ廻して片手もねじ上げて白いハンカチで先ず細目の第一発……アツもスウも言わさぬ間に「立て！」

「ハイ」

と反動的に服従的な返事で素足をくねらしてボクの机の上に突立つ君子、それでもく／＼られた手に力を入れて両肩を突張りうつむき加減でボクは腰を

降ろすと下からのぞき込まれるようなのがつらい——と言つた風情で気味悪い静寂……ボクにしてもイササカ興奮気味でうしろから君子の腰を始めてマザ／＼目前にして先ず第一の目的胖エクボ(膝頭のうら胖と裏太腿の中心点にある筋肉のエクボ)の美の発見に「ウーン」と感嘆した。

「行儀悪い足付だナア……爪先を揃えて……」

のですが之は又親切丁寧なる論説、私の様な浅学な者にもよく分りました。一つまみの塩の味は私の様にお汁粉の好きな男にも経験する所です。

(五) らぶ・すれいぶ……うまい、確になめらかな筆致……全くなるとか少々文句も言いたいと思いつゝも何と一つてもうまいの一語あるのみ、一体この位ひきつけるのは何だろうと思いつゝいつもす／＼と読める作品、五月の緑の風か？

(六) 由紀子のお仕置……之は又可愛いらしいですな、作品も純情そのもの。さて大川さん奇巧の皆様は怖い目を

「ハイ」と爪先を引付けた。君子の両胖は美しい線で横張り気味に張り切つてボクの目前にあり…… スデにボクのアクションツが残された自由である。然しボクにはそうした能動一辺倒程、軽薄ではない……立ち上つた。ボクの手は早くもハンカチの細目をほどいて「今日はよし次は本格的に縛り上げるゾ！」

珍らしく返事がない上にボソ／＼とテールから降り始める。「縛り上げるゾ！」と力を強めて叱り口調で言うハツと気がつくように「ハイツ！すみません……」

今考えると君子は何かもつと他の行動を期待していたものと思われる……然し女の脱皮年代の初期本能には大人の思いもよらざる所もあるものだ。春の彼岸入り……

本格的に縛り上げたのがこの十八日ナヴァロキッスを初めたのが廿一日の休日、高潮した頬を小さくびくつかせて暫くは眸を開けない君子。

それからこの数日の間ボクらしくヌードと処女開花の嵐の前の静けさの快

お上品振っているのを見たりすると、ついむらむらと発作が起つてしまう。泣き叫んで飛び出してゆく姿は、私に得も云われぬ快感を覚えさせ、私はそれだけで満足してしまうのだ。

【6】

私のこの悪の巡礼は暫く続いた。夜寮を飛び出して曉時四時頃東が白む頃こそ／＼と帰つて来て誰にも発見されぬよう窓から部屋に跨ぎ込んで、ぐつすり死んだものようになって眠る。朝八時にぎり／＼飛び起き、大急ぎで役所に勤めに出る。昼の一時間は出来るだけ午睡をとる。帰寮して入浴して疲れを流して一と眠り、十時頃又仕度をして表に出る。こうして私の日課はくり返されたのである。私は一戸建から次第に集団家屋のアパートを狙うようになった。一軒家ではせい／＼主婦と娘の二人を見るだけで終りだが、アパートなら一晩にうまくすると十人以上の変つた女体の神秘をさぐり得る可能性が大だ。私は湯島附近の或る大きなアパートに入った時、一つのアバン

チウルを思い立つて、三つの婦人用便所のうちの真ん中の扉にもぐり込んでタイルをこわして／＼から覗き込むことを考えた。三時間近くか／＼つて前と後の壁のタイルを一枚づ／＼とり外すことに成功した。前の扉に入れば尻が見えるし、後ろなら前が眺められる。私は朝までに七人の女の用便中の状態を覗いて満足して帰つた。シユミズ一枚で来る女、桃色のタオル寝間着の娘箱に入らぬうち、尻を捲くつてズロオスを下ろしかけて来る女、営みを終えて疲れた顔で、チリ紙のかたまりを沢山持つて来る人妻、さまざまである。拭く紙も色々で、京花紙の上質のものから、雑誌を破つたもの、新聞紙、包み紙、等なか／＼多様な種類をかぞえる。中には排泄後、尻をふり／＼しづ／＼を切つてその儘出てゆく節約組もある。ノウズロはざらである。十いくつかのアパートのうち、むしろ穿いていない女の方が数も多かったと記憶している。私の覗きは終いには、只覗くだけではおさまらぬようになって来た。そこで今度は小便を顔に浴びてみるこ

とを思いつき、女子寮を狙つて探し歩いた。赤羽辺まで歩いて探し廻つた挙句、四箇所ほどの女子寮を発見したので早速、その夜から仕事に掛つた。肥つたの、やせたの、美人、おかめ、こ／＼といろいろである。私は美人型を狙う以外は凡そ手を出す気にもならず従つて一つの寮に五六人がいゝ処であつた。N寮では三人の娘に黄金水を浴びせて貰つた。T寮では何と九人の女から顔と云わず上半身一帯びし濡れの奉仕をして貰つた。あの生暖かい生理の水が、顔に奔る時の快感は不思議と私を夢の国に引き入れる魅力を持つていた。

私はこの浴びることに満足を感じなくなつたので更に小便を飲むことを考えた。そこで脱脂綿を小さく切つて小便をこれに吸い込ませ、これをしば／＼つて飲むことを始めた。女が便所に入るのを狙つて汲取口から手を出し脱脂綿で小便を受け、暖かいうちに飲み込むのである。塩っぱい何とも云えぬ味だ。私は時に四人分も頂くことがあつた。しかし流石にメンスの経血だけは飲み兼ねたものである。こうして、飲むにも飽いた頃、遊廊の女達の雰囲気を感じて嬉しみたくなつたので、暫くこの方面に足をのぼすことにした。大宮の新天地や新小岩、東京パレス、亀有松戸、船橋等の赤線地帯に二日おき位に通い、つとめて廻し部屋で左右、前後の隣室のうめき声や吐息にき／＼耳を立て／＼興奮した。私自身、こうした社会の女性との交渉はあまり好きになつたので、専ら、洩れきこえる、あのせつない激情の声音に楽しみを覚えだしたのである。女郎に飽きると、無理をして待合に通つた。新橋鳥森、新宿十二社、中野新井、白山等、都内の一流どころを狙つて芸妓を呼んだ。遊廊と違つて花代も馬鹿にならない。五千円は最低必要だつた。私は女達の肉体を求める代りに、芸妓に全裸になつていろ／＼花電車的なことをやつて貰い最後は口の中に小便をして貰つた。その時の小水の美味かつたこと。今に覚えていゝのである。白山の巨男と云う妓は、私が頼むと二つ返事で引き受けて呉れ、かつらをぬいでお腰一枚になつ

サデイスの懺悔より

續 錯乱の倫

(其の四)

近東規矩也

とが難かしくなつた訳である。従つてこうした場合には掃除口のガラス戸を細目に開けて覗き込むか、或はハシゴ等を使つて上の窓から用便中の肢態を眺めるしか手が無いのである。

然し、汲取口の大きな処では肩の辺までもぐり込めば便器が正面であらうと、真横に位置しようと、下半身全体があまりに眺められるので、一番興味と満足感が味わえる訳なのであつた。たゞ汲取口が「きんかくし」に對し正面に設けられてある場合、もろに小便の逆りを身体一杯浴びせられることになるし、横口の場合は下手をする

浴びせられても万更色の悪いものでもない。むしろ願いたいと感じることすらある。それからもう一つの条件は電燈である。電燈の付かぬ便所など凡そ意味のない話で、私の芸術感を踏み碎いてしまうものである。明るい燭光であればある程よく見えるし、興味も多いと云う訳で、矢張りタイル張りや絵を使った建築で、常に樟腦の香気高い清潔な感じのする便所がよい。「きんかくし」も白い瀬戸の掃除の行き届いたものが有難い。木造のものは不潔な感じだし、いつそ丸くくり抜いたゞけのものの方が面白く思う。窓の無い便所はアパート式の建物以外にはないが、掃除窓の無い便所は時折り見受けるし、申し訳程度に戸が付いていて戸外の者が覗んで覗くと、用便中の肢

態が眺められる便所も、案外都内に散見されるのだから不思議だ。大きな便所、小さな便所、男便所(朝顔)のついているもの、無いもの等色々である。

私の長い間の便所覗きの経験で一番困却した事は矢張り警官と犬である。よく今少しと云う処で近づいて来る警官の脚音にあわて、逃げ去らねばならなかつたり、やつとの思いで忍び込み便所の汲取口を開けて用意が出来て一ト息つこうと云う時、その家の飼犬に吠え立てられ、借しくも退散せざるを得なくなつたり、実に残念なことが数多いのである。私はそこで必らずその夜のスケジュールを樹てる時には前以て一日屋からその附近を歩き廻つて地理に精通して置くことを忘れなかつた。露路と云う露路はたんにねんに調べ上げ何分にも深夜のことであるから、何時何処の物影から警官の職問を受けぬでもない。そこでとまどい等していたらたちまち交番に引つ張られて訊問され身体検査をされないとはい限らない。そうなるは大変である。私は常に大型の

電燈とジャックナイフを携帯しているからである。下手をするに現行犯で書類送検も免れない訳であるから。勿論懐中電燈は便所の中を調べたり、周囲の状況を詳細に調べるもので、いくら明るい電燈の灯つた便所でも覗んだ下半身は判然と見究め難いものであるそこでそうした際に、構造や形態、その他の様子を眺めるにも電燈で照らす必要があるのである。この場合非常に警戒と細心の注意力が肝要で、間違つて光芒が下半身をそれたりなどしたら、たちまち発見されて大騒ぎにならぬものでもない。さりとて懐中電燈の無いことは総てに不都合で仕事の成果を前々結果となるので必携せざるを得ないのであるし、ナイフは興に乗つて来ると、つい悪戯を試みたくなるので、そうした場合、手頃な獲物として大いに役立つ訳なのである。中にはずうずうしく、美貌な娘であり乍ら、放屁を堂々と高らかに発して、鼻をかなり、流行歌を口誦んだりして、太いやつを五六本も落してゆくのがある。その娘が屋間は、いやに氣取つて変に

して虎視眈々と貴女の白いお仕置衣の下にかくされた美しい肌を裸にむく日を狙つていますよ。御注意遊ばせ。

(七) あるマゾヒストの手帖から……何か文句を言つてやろう(KK論壇を見て)と思いましたが外語の羅列は苦手で敬遠しました。マゾヒズムの精髓とも言ふべきか。マゾヒズムも之位になれば敬服に値する。M覚の総帥たれ共通の地盤を築くには私の非学が情ない。さて何か間違つた字句はなかつたかな。桑原々々。

(八) アブノーマル・ファンタジー……今迄の号なら随分と傑出した作品となつたであろう、又作者の責められるもの「近代的な明るさ」の中でも力作でしょうが惜しい事には他の作品が揃い過ぎた本号では……貴方のモチーフを生かして一大飛躍が必要ではないか知ら、しかし余り飛びすぎて太ももがむき出しにならぬ様。

(九) 我が告白の断章……傾向は多少違つても私によく似た事を言う人。妙に心がひかれる。今迄の私の奇巧によりピクアップした同好の心の友の一

人に加わつて頂きましょう。東京にいる貴下が羨しい。

(十) 責苦……八月号の「乱房を失つた女」とあまりにも似過ぎていますが矢張り濃厚な刺激は充分に私の心をエレクトさせてくれる。桂子と夕起子がスミを責める処は全く文句なしに最も効果ある興奮剤。

(十一) 松井籟子女史を圍んで……六月号の最大の企画、新年号の座談会にも優るとも劣らぬ素晴らしい。出席者の顔ぶれもうれしく奇巧に益々信頼出来る奇巧がどの程度の階層の読者を持ち企画しているかを如実に物語つてくれるのに最適の読物、最後の方にあるKKの特別会員を中心にした様々のグループの行事に期待。

(十二) 廊の灯影……之も素晴らしい。中でも失礼な言い方かも知れないけれど氏の書いたものでいつも私が魅力を感じるのには責められる裸女の豊満な臀部の描写で私自身臀部に対する執着がある故でしょうか。全く――。

(十三) 淫火……号を追ひ益々佳境に入る隨一の小説。松井女史の奥深く泉

の様に湧き出る美酒に酔いしれる私を発見する。早く早百合夫人を縛つて欲しいと言ふ一部の読者の声もあるが私はそうは思わない。不自然な物語の推移を私は嫌う。いつ迄もじらされてもこれ位の酔心地のまゝなら大いに結構

以上他「静安劇場後日譚」「文芸に於ける切腹描写」「虹の階段」「緊縛による一表情」「ヴァンプ女優列伝」その他も決して前述の作品に決して落ちるものではないのです。之を見て頂いても私が六月号に歓喜したか御推察頂ける事と思います。以上失礼な事を申し上げましたが露出的な傾向も持つてる私として厚顔無知なることを敢えて申し上げて輕蔑されてマゾヒズムを味い又想像的なサジストをも併せて味つている浅慮なる私故どうか御諒承お願い致します。それでもお腹立ちの方はどうか鞭を御持参の上、又マゾの方はどうかお臀をきれいに磨きたてゝお越し下さい。男色の方でも何でも結構です。心より歓迎します。

――妄言多謝――

美を味いつつも一昨日あたりには既に真黒のビロードのフレアースカートで素足と言ふより踵足にした君子。純白のブラウスの上から麻の細引で段に本紐の高手小手更に首つ玉(吊り紐をかかけられながら背から抱きめめるとキツスを得つ間もなくボクの身体へ可愛い、半熱的な臀部を擦りつけて来るようになり、さては同合つて抱きめめ繩のかゝつた手を引掴んでむさぼりたべる様な接吻に熱い鼻息をボクの顔一杯にフーンフーンと吐いて腰をすりつける君子。

一昨土曜日に至つては早朝一発例によつて事務服に跣足、うでまくりでボクのテーブルのあたりを掃除したあけくナヴァロキツスタイルでひざの上に抱き上げた後足の下に踏みつけて見たくなり、高手小手の君子をフロアに引転がす。君子は全身くの字型にしたまゝ、気味悪い程の沈黙の一分、二分片足のおやゆびが本能的にフロアに爪立てている。ボクの片足は反動的に君子の臀を踏付けて君子を俯伏せに押えつける。

「ハアア」と何か小さく嘆息を挙げた
丈で純真な生娘が殉情（マゾヒストに
相通するもの）に生き始める姿があま
りにも可憐悲愴である。
水蓮の様な腓そしてピンクパールの
ような踵、煩張りたいような腓えくぼ
フロアの上へ身も心も許したとばかり
頬をすりつけて紅くほてつた瞳を閉じ
る君子の唇をくねくねと足でもみ押え
る……とボクの片手に掴んでいた細尻

特別会員文通規定

- 一、文通の斡旋は本誌特別会員相互
間に限って行います。
- 二、会友通信に掲載御希望の方は通
信文に会員番号添記の上御申込下
さい。
- 三、会友通信に発表の会員に文通を
望まれる方は、切手三十円同封の
書信を読者係宛御送付下されば御
指定の会員に転送致します。
- 四、書信にはすべて住所氏名を記入
せず会員番号によつて下さい。
- 五、通信文は読者係に於て詮衡の上

が思わずパリとゆるむ……
「ネ、細尻シツカリ引張つてね」
と遂に責の文欄節を喰うようになつ
て終つた。如何なるボクでもその場で
……とは行かず
「ウン、ヨシ、ダン／＼言う事をもつ
ときくようになるんだゾ」
とグイツと一息細尻を引張つてラス
ト「ハイ」それでも君子の舌は子供と
は思えぬ切なさ表現した。同じハイ

- 出来るだけ多く会友通信欄に発表
するよう努力致します。
- 六、返信の転送は読者係宛切手三十
円同封の上、相手の会員番号を明
記して御送付下されば早速転送の
手続きをとります。
- 七、本規定に寄らない通信は理由の
如何に拘らず総て御取次致しかね
ます故御承知願います。
- 八、尚、従来本誌の読者サービスと
して取扱つて居りました読者間の
文通斡旋は此れを機会に一切廃止
致します。
- 九、会友通信は今後漸次充実する考
えであります。

でも一息切れた返事であつた。
「あすは日曜出勤だ」と含みを抱い
たボクの命令に心相通じたものだろう
「ハイ」と意識的に空を掴んでいた細
目の十指を開けて力を抜く……それで
もボクは力を入れて細尻を引張つて引
立てる様に起すと自由のからだにして
やる。も一度抱き上げてこみ上げる愛
情のキッス……
そして四月五日……桜と共に君子の
開花は裸と処女割の日となつたのであ
る。四月五日将に咲くに早く散るに早
い春の一日。

ボクのロードスターは久しぶりで春
日浅い日曜早朝から鮮魚を運ぶ用意よ
ろしくボクのハンドル一つに託されて
事務所へ横付けにされる。定刻午前七
時、ボクが部屋に着くとスデに君子は
出迎えに来る。さらだに静かな事務所
は日曜のモノ寂しさを満している。君
子は此れ乍ら今日の休日には——
とこゝ一ヶ月程で調度したあらゆる新
品で身を装つて来ている。ボクの脳裏
には早くもテクニツクの一番がひらめ
いた。

「今日は遊びに来たのか？いつそんな
服装で来いと言つた？」
キッス——と思つていた君子。ボク
の終気一発にハツと飛び下るように身
をすくめ
「すみません……」
机の横のいわゆる観念柱に立縛りに
した君子。ボクがいつの日か本格的な
慰薬のためと買つてやつたライトグ
リンのローヒールの靴、グラスナイロ
ン肌色に黒線の皮下、腓を一段と白く
引立てるためのギヤバの黒紺のスプリ
ングフレアスカート、真紅のチエツク
柄のカッターブラウスに麻紐をかけて
両手を柱のうしろに廻しての一先ず腰
縛り……

「すみません」

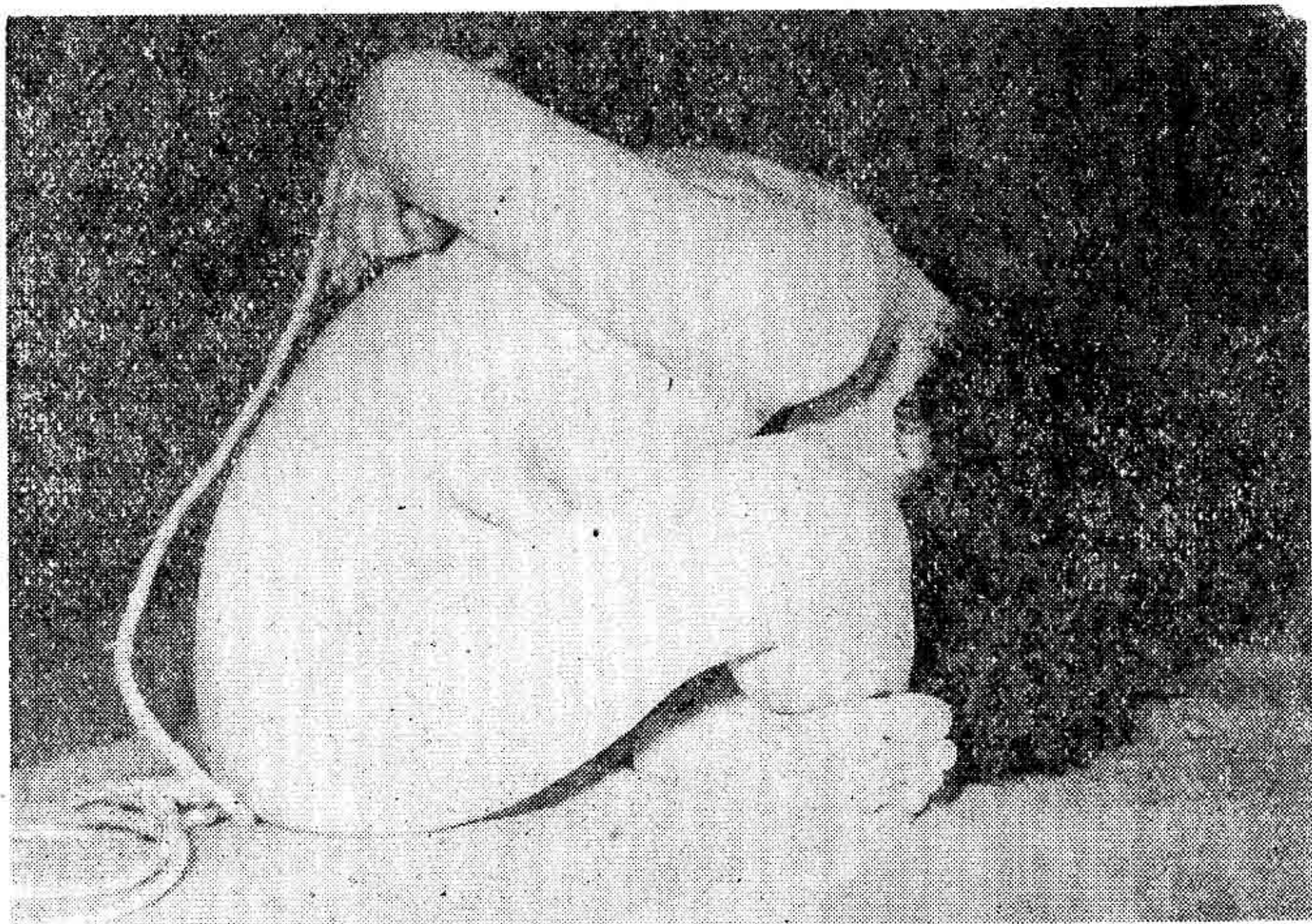
縛られてからも又あやまる君子——
ボクは前のソファ式廻転椅子に腰を下
ろすと一息入れて次の対策を考える、
息をつめていたようだった君子が細目
で張つた肩の力をぬいた思い入れで、
声が出たか出ぬか「ハア」と一息つく
この吐息が何を意味するかボクにはわ
からないが今の君子の心情からしてボ

ひとつの私があるように思われます。
岡田咲子先生の作品が好きなのも、あ
の理由があるからでしょう。「マゾヒ
ストのサジストの転化」ではないかと
思つています。これは考えてみたいと
思つている問題です、ウロラグニアの
芽ばえは外の私を生んだようです。
激しい病的な美意識は、これから種
々な問題を起し易いのです、これから
の良い御指導を心からお願ひ致します
(芳野盾美・一八六八)

出かける直前（私の職業はバーテンダ
ーです）銀座××丁目の×××ヘコー
とを飲みに入りました、可愛い、ボー
イがコーヒを運んで来ました。数分後
彼が私に視線を注いでいるのに気が付
きハツと思つた途端顔が真赤になり、胸
がドキ／＼と高鳴りました、私は自
分自身が驚く位の度胸で目をパチ／＼
と瞬かしてウインクしました、彼の名
は久仁ちゃんと言ひ十七才との事、私
の希望は遂に達せられました、これも
貴誌のお陰と本当に嬉しく思います。
私にこの勇気をお与え下さつた貴誌並
に先輩諸氏に厚く御礼申し上げます。
(東京、山畑茂)

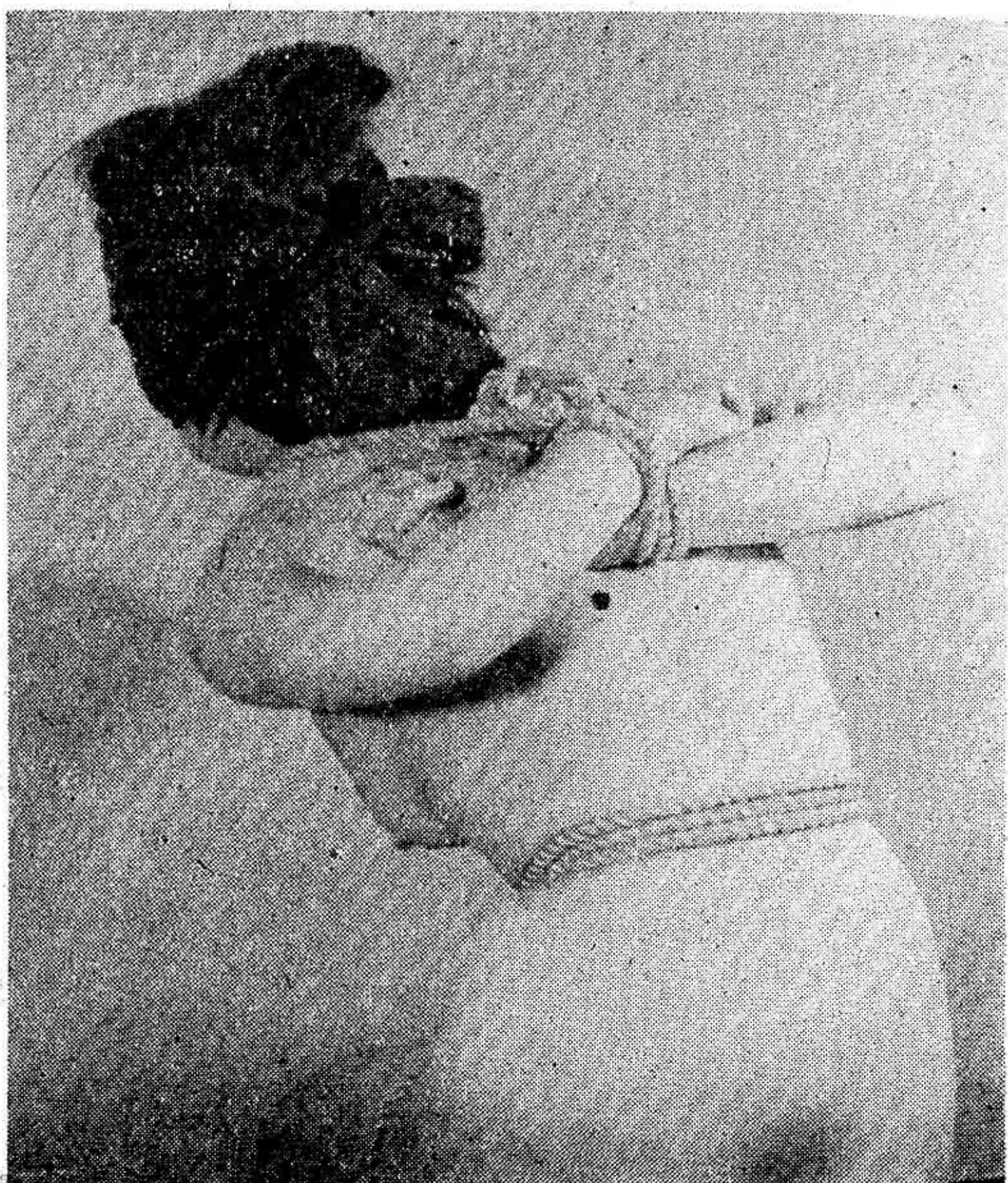
毎月正確な発行を続ける奇譚クラブ
の代理部というので絶大なる御信用を
博して居りますこ
とは常日頃厚く感
謝致して居ります
その為、優秀入念
なる作品の迅速確
実なる発送をモツ
トとして、常に
一歩前進すべく努
力を続けて居りま
す故、何卒御信頼
の上従来より一層
の御愛顧の程お願
い致します。誇大
なる営利本位の泡
沫的な広告に失望
を感じられた方は
是非当方へ御申越
下さるようお待ち
致します。現在分
譲中の写真集は本
誌七月号中に発表

代理部だより



てみると昔の図案の揃っているのも嬉しかつたです。(山梨生二六四)

○ 五月号の「マゾヒストの会」及び「捕縛難考」は特に興味を持つて読みました、機会ある毎にこの様な文献の紹介をお願いしたいと思います、女性のヌードや責めの繪や写真も中々いゝも



のですが、これは他誌でも時折り散見します。筋骨美の男性ヌードや縛られた繪や写真は一般に受けない故でしょうか、余りなく、これに興味を持つ僕としては淋しい限りです、欲を云えば代理部の女の写真の中に少しでも男のも入れてほしいものです。しかし、同性を縛りたい、縛られたいという秘か

な欲望が、あながち僕だけでなかつた事を貴誌の捕縛難考によつて初めて知りうれしく思いました。

(大阪、中田研一)

○ 始めてお便り致します、私は貴誌の愛読者でございます、現在高校に通つております一学、でございますが、貴社の御本、Kクラブは私達に心からなぐさめるものがございまして、今後ともよき楽しい編集をして下さることを祈ります、さてこの度お便り致しましたのは折入つてお願い申し上げることがございましての事です。初めてのお便りにて失礼とは存じますが、どうかお許し下さいませ。大へんぶすつけでございますが、愛読者の方々と文通致したいと存じますので適当な方を紹介願えませんでしょうか、私達は私達のために書かれたようなKクラブの読物を心からの楽しさをもつて読んで居りますそれから古い事になりますが、一九五二年の十二月号にありました「セツスの記憶」をお書きになりました綾久江さんお便り頂けたら嬉しいと思います

どうか、この一学生の願いをかなえて下さいませ、かしこ

(山口、仲橋隆江)

○ 沼正三先生、四月号「ネクター」を手に入れる方法「有難うございました」うれしさの余りかえつて書きそびれてしまい、すつかり返事が遅れてしまつた事をお詫び致します。沼先生、奇譚クラブは普通でござい私には刺激が強すぎるのに四月号では本当に感謝いたします。五月号の「マゾヒストの会」六月号の「あるマゾヒストの手帖から」もうれしく拝見しました。コプロラクニストに仕込まれた司令官夫人との話をしていただけませんかそして、ウロラクニストとしての実践とその性の編歴を、私はコプロラクニストにまでいけるかどうか分かりませんが、S子夫人との経験も是非お願い致します。何か嫉妬に似た感情と、安心とがもつれあつてどうも落着きませんでした、私を支配した女の同性愛の問題はウロラクニストとしての私ではなく、もう

クはマゾヒスチックな序曲と考える。珍しく嬌笑もエクボも見せずじつとつむいている君子、何か覚悟はしている事はよく読みとれる。この観念柱に立縛りにされたものは時間の長短はあれど必然的な人間心理の盲点である。このまゝ剥いて行くには君子の場合余りにも可愛想に思えたのでいつものボクには珍らしく立ち上ると接吻から始めて誘導してやることにする。小さいあごに手をかけて顔を上向きし早速舌戯キツスから始める。頃合を見て唇

【特別会員だより】

特別会員を基とした企画について種々の御進言多数を頂き感謝致して居ります。先ずお求めにより限定版のアルバムを会員用として作成、責めの一端を果した気持で居りますが、引續いて時代物の画帖の企画を樹て、只今描画して頂いて居ります。作者は内密でございいますが、何れ完成次第御披露いたします。漸進的な歩みではありますが御期待にそむかないつもりです。

をはなすと

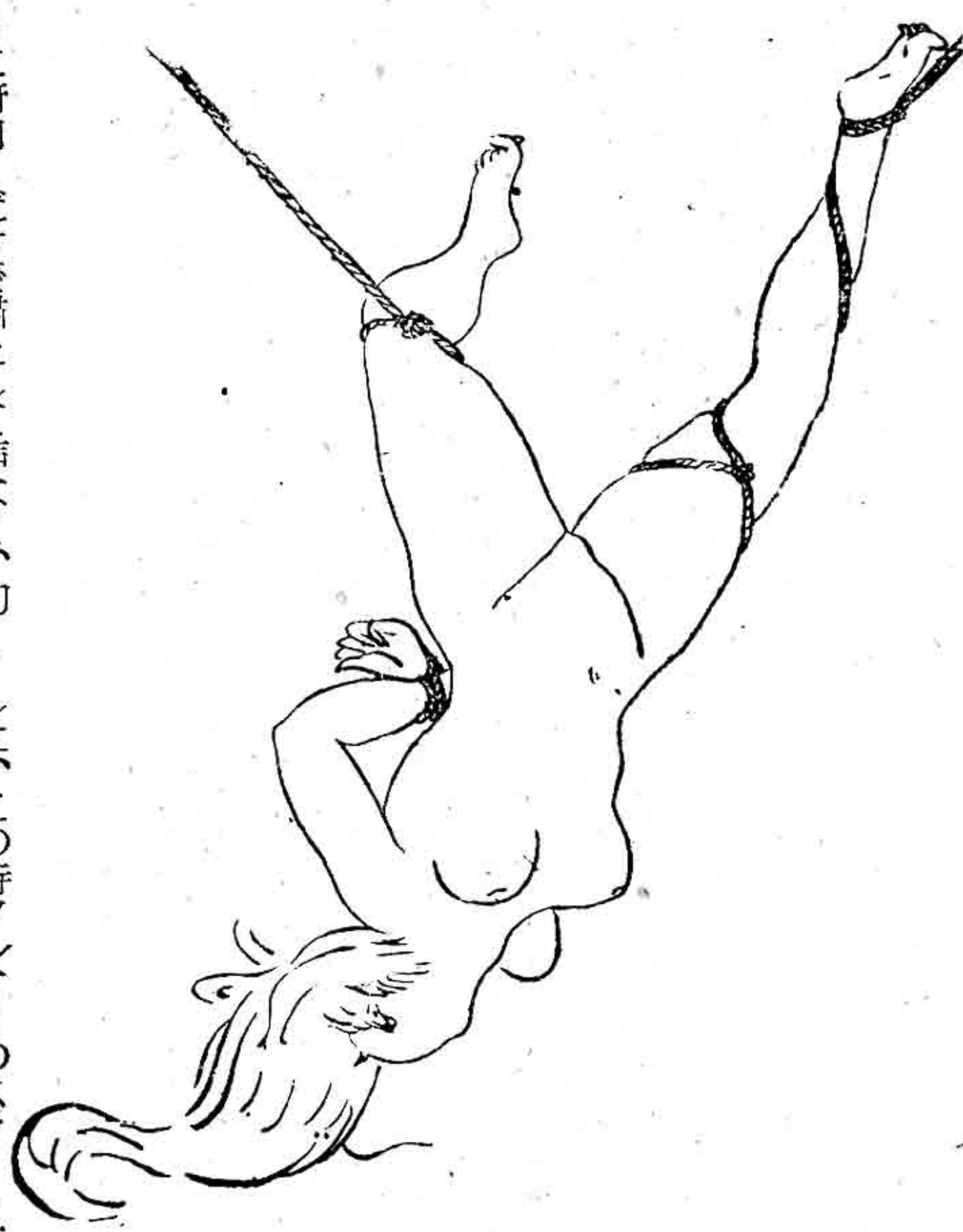
「今日は裸にするゾ」

さすが「ハイ」とは言わずだまつて又うつむく、赤くなつた顔をかくすためか？ハラツと縄目をほどき「自分でぬげ！」少しためらつた思入れで——真新しい靴のフツクをはずし始める。「下はワシがあとで引きむしつてやる、上から早く」

ボク自身でもボクの声調が過激である点胸にひびいて来る。反動的にブラウスのボタンを抜き出す、ボクは立ち上つて行きむしり取るようにぬがし毛糸のチョッキ様のものもぬがし白を入れぬ間に純白のシユミーズを肩先へ抜き出し子供の着がえをさす恰好で上半身裸にして終う。

君子の可愛い、乳房を見る瞬間彼女の両手は胸を抱き締めてしまふ。此の場合ボクには高手小手の余裕はない両手首を掴むと、とりあえず後手に腰縄に縛り上げるだけでボクのテーブルの上へ抱き寄せた。

頬をハツキリ赤くした君子。ペツタリ正座した姿であごを胸に引付けるよ



うに俯向くだけで肅として声なく、勿論成熟した乳房ではない。白く半円に盛上つた小造りのピンクのスイツチの乳房、もみ上げるにはまだ痛々しい、今日の目的は最後にある、手の自由のない君子はわけなく机の上で横に転がる。軽く足搔つた足首を掴むと半ばたくし上つたスカートの下から査下止もろとも脚の裸は流動的であり續いて純白のズロースもわけなくたぐし降りしつてフロアに投げ捨てられる、仰向けに

した、この時フレアーのスカートはおあつらえ向である。パット胸まで捲り上げる、間一発

「社長さん」君子には初めての言葉思わず目的物から君子の顔に目を向ける真赤と言うよりボクのテーブルのマホガニー色とまさに同様の程の赤さである、頬の色もひたいの色も耳の色も口紅の色と思わんばかりの色、愛嬌第一の君子の下唇は初めて、軽く噛みしめられてる——

(未完)

会友通信



会友通信の誕生をおよるごびします
最近私は大阪にまいりまして道頓堀、
新世界のことも雰囲気、通行の娘さん
の姿などを一寸みて新しい責めのフ
ンタツを感じました。責めを庶民の
遊戯として育てる母胎はよくしい
東京の街より関西の方がより適してい
るように思われます。毎号期待の罪の
椅子は空想を呼び、興奮にむせびます
五月号の新婚生活のような生活をなさ
つていらっしゃる方をお待ちします。

(東京、S・M、一八六九)

さわやかな時節となりまして編集長
様初め御一同様御健勝の事と存じます
永い間御依頼の原稿を放つて置いて申
訳ございません。只今続編を書いてお
ります。此の間お送りした分は忙し
に苦しまされに筆をとりまして意に満
たないですから発表は見合せて下さい
今、私の居ります所は手紙が来ますと

主人が全部内容を検閲しますので勝手
ながら住所はお知らせしませんでした
がお客様のなかで極く親しい人にお願
いして連絡場所を得ましたから以後の
御連絡はそこへお願い致します。

若し私の拙い文が貴社の御期待に沿
うならば今後の体験といった特殊地帯
で見聞した事柄をまとめて次のような
計画を樹てゝみました。一、私刑に泣
く子殺し未亡人、二、対抗リンチ、三
残飯盗み、私自身虐められた記録、
四、獄内の喧嘩、五、毒婦の新入り、
六、逆立ち(新入りが一団となつて逆
立ちと天井にぶら下る運動をやらされ
る)。七、作業、八、懲罰(あまりにひ
どい女看守の態度にかつとなつて掴み
かゝり懲罰を受ける)九、お美代のヘ
ロイン(お美代がヘロインを吸う時は
誰かが犠牲になる。京子が浅間しい恰
好で形相を変えて抵抗するのを無理矢
理にお美代がヘロインを吸う間中、な

めさせられる)十、農耕作業、
若し私が書いたと判れば言語に絶する
迫害を受けるのは必定ですから、どう
か呉々も私の名前は秘密にして下さい
ませ、御連絡は編集長様個人のお名前
で出来れば封を別々に二重にして頂け
れば幸甚に思います。(大阪・小坂多
美枝)

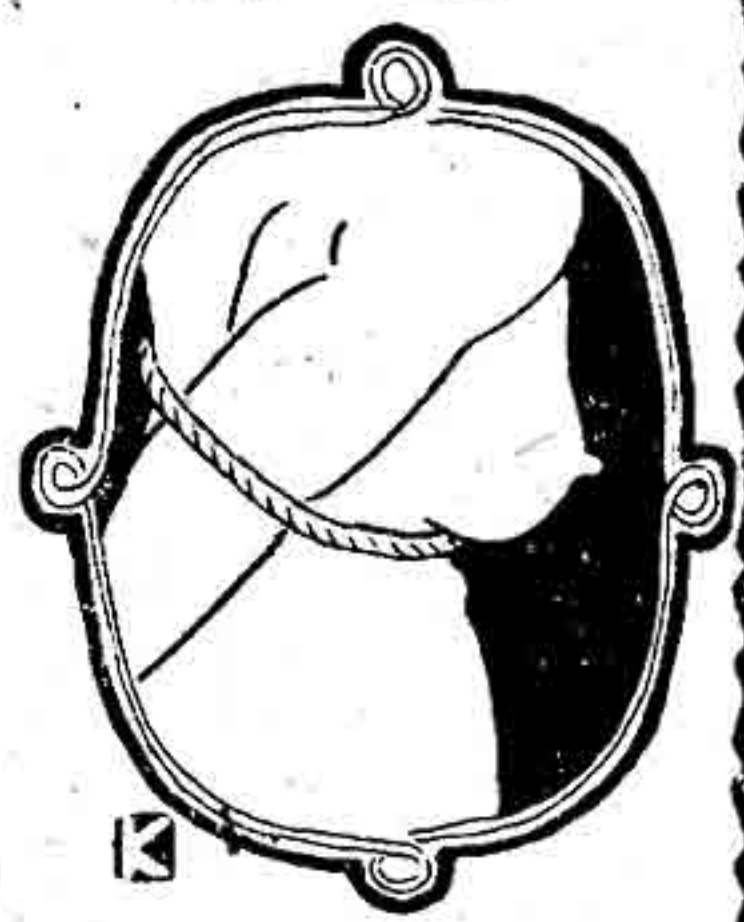
横浜、セ・M生様、小生は貴下の
求められると殆んど同じ性癖を有して
居ります。私の希望する所は私を馬に
して貴方の奥さんが馬に対してなさる
と同様の方法と行為によつて乗り廻し
て下さい。乗馬服をつけ貴方の奥さん
の馬となつて私は馬のする如何なる行
為も致します。そして私への乗馬が貴
方方の性生活への一つの刺激となれば
幸いです。私は性行為を必要と致しませ
んの何れ奥様の馬にして頂いても支
障は起りません。拍車や鞭はお待ちで
しょうか御返信御願ひします。(東京
森本愛造一六〇二)

転送のお便り有難く拝見いたしました

た。わたくし、編集部へ宛てた御手紙
でしたのに会友通信へのせられました
為、たくさんの方々の御便
りを頂戴して面くらいましたわ、一々
お返事差し上げるのが本当でございま
すが、もとくわたくし、そんな気持ちで
出したお手紙ではございませんでした
ので、悪しからずお宥しのほどお願い
致します。只、わたくしは編集部のモ
デル募集の広告を見て、応募してみよ
うかと思つただけなのでございます。
(奈良、柿本啓子)

小生、生来のマゾヒストにて日頃よ
りサジズムの女性の出現を期待して居
ります。森山美歌様並に全国のサジズ
ムの女性の皆様、どうか私の切なる願
いをお聞き入れ下さまして御通信下さ
るよう御願ひ申し上げます。私も従来
二、三のサジストの女性との交渉があ
りましたが、実際の経験や文書の集積
による研究の結果を共に楽しみたいと
思います。貴女方の足下にひれ伏す奴
隷より(一九九九)

七月号の 内容



淫火の挿繪は新年号から六月号まで
玲子女史を煩したが、今回清新の氣を
注入する意味で新鋭栗原伸氏を起用し
た。皆様のホープ岡田咲子さんは一
私の主題——と題して身辺物を寄せら
れた。女が女を責める小説を今後書
き続けるという女史の意氣をかつてや
つて下さい。時代小説をという読者の
要望に依りて、窪村弘氏の片耳伝奇を
一本加えた。あるマゾヒストの手帖か
らは該博な知識をふりかざして筆者が
マゾヒスト講座と銘うたれただけであ
つて、第一回から好評さく、凄惨反
響があつた。補充と訂正も校正途中に
於いて急遽挿入、各研究家の便益に供
したいと思う。毛利綾子さんの「裸にな
つたお姫様」と山本百合さんの「くす
ぐられるよるこび」の二つは共に年若

い女性の告白物として異彩を放つもの
と思う。今迄好評を拍した切腹物の実
際の裏付として水内武郎氏の切腹願望
に対する体験談を得たので恰好のもの
と推奨する。淫火とらぶ・すれいぶは
競演の形で追いつ追われつ、シーン
ゲームを続けていますが、一応人物の
出揃つた本号あたりから油がのる等、
珍しくフットフェチズムの「祭壇に
君臨する脚のマゾヒズムと手記」は
は縛らずのサジズム、何れも本号で
完結するに至つていないが、従来のも
のとは何か違つた或物を皆様にごえ
ること、思う。内容の真面目さをかつて
ほしい。クリスチーナの受難、流石、
サディズムの精髓の筆者の訳愈々面白
くなつてきた。抄訳なのが惜しい位、
変の字問答、新年号以来暫く間があ
いたがこゝに第三話を掲載するを得た。
女性緊縛マニアの一つのケースとして
興味をもつて眺めて頂きたい。伊藤晴
雨氏の其頃を語るには懐旧の情切なる
方も多いと思う。多くの秀作を次号廻
しとしたのは残念だつたが細い読物と
相俟つて斯界に誇示するに足ると思

我々のグループの方に御願ひがあり
ます、旧陸軍の看護婦(兵舎、病院、
学校、防備隊、海兵団等)に対して行
われた色々な懲罰を知つて居られる方
があれば発表してほしいと思ひます、
私も海軍の卵の一人にて横須賀の某学
校に約一年程勉強して居たものです。
KK通信第九号を見て非常に嬉しく思
いました。理由は小型になつたからで
す。(八尾生、一八三)

読者通信欄を拝見しますと男性マゾ
に対しての不満の声の多いのに驚いて
います、又それだけに其の記事を渴
望して居る人も多いのではないかと薩
乍ら思つて居ります、私も男性マゾで
あるかも知れませんが満たされぬ思い
を貴誌並にKK通信によつて僅かに慰
められて居ります。女性の緊縛美もさ
ることながら男性の隆々とした筋肉の
動き、その上に蛇の様にまきつく縄の
苦痛の幻想に美しさを感じられる人は
ありませんか、同好の方の通信をお待
ちいたします。(大阪、一八七五)

「女を裸にして縛る」なんと素晴らしい
ことでしょう。誠に虫のよい御願ひ
で恐縮ですが、マゾの女性を御紹介願
ひしませんか、但し男と女では貞操の問
題があると思ひますが、私はその点裸
の女性を縛つて苦しめるだけで決して
肉体に手をかけるようなことを致しま
せんから、何卒御信用下さい、私は結
婚後四年の三十才の青年です、妻を色
々試してみたいのですが全然マゾの傾向
はなく全く困つています、マゾの御婦
人の文通を御待ちします。
(横浜、KK生)

一月一月充実してゆく貴誌には実際
頭が下ります、愛読者や会員が増加し
てゆくのもつともの事と思ひます。
私は貴誌の大判時代からの読者ですが
限から限までケレンなく真面目に編集
されているのには敬服します。表題や
挿繪だけで読者の目を迷わす群小の雑
誌が書店から次第に姿を消したのは全
く当然の成行きでした、私は貴誌だけ
は何度読んでも返えしても飽きない位で
バックナンバーを十二冊、書棚に並べ